

未来へつながる確かな安心をお届けします

肥後保険企画

2025年7月155号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 AIG 熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <https://www.higohoken.co.jp>

定期便

check



©2010熊本県くまモン

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

いつも
ありがとうございます



こんにちは！渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。

▶試用期間は、採用した人材の能力などを見極める期間です。ただ、労働契約は試用期間の有無によらず、採用した時点で成立します。雇用について最終的な判断ができるものではありません。

▶なので、本採用を見送ることは法的には「解雇」に該当します。本採用拒否が有効となるには合理的理由が必要です。

▶試用期間中の解雇は、本採用の解雇に比べて広く許容されていますが、有効となるのは社員を雇用し続けることが適切でない、と客観的に判断される場合に限られます。

▶期待したパフォーマンスが出せないだけでは、本採用拒否は認められません。「何のための試用期間なのか」と思いたくなりますが、試用期間はあくまで教育訓練期間でもあり、成果が出ないのは当然とする考え方もあるからです。

▶やむを得ず本採用拒否を通知する場合、不当解雇と争われるリスクがあるので、事前に特定社労士や弁護士に相談しましょう。

▶先月はAIG損保のAMAセミナーに参加してきました。

▶毎年とても良い刺激を貰えるセミナーです。



セミナー会場

生命保険お役立ち一口情報

生命保険は、若い時のほうが保険料は安くなっていて、年齢に比例して高くなります。年齢を重ねると、それだけ病気になるリスクも高まるからです。

そもそも、保険料が上がるのは、10～15年といった周期で定期保険が満期を迎え、その保障を更新していくごとに保険料が上がる仕組みとなっているからです。

保険料が更新ごとに上がっていくとなると、将来、保険料の負担で生活費が圧迫されることにもなりかねません。

それなら、当初から保険料が上がらない保険に加入できないかと考えるのがいたって自然な考え方。たとえば、終身型の保険や、必要保障額に見合った収入保障型の定期保険に見直すなどの行動を起こすべきと言えるでしょう。



手書きなので
枚数に限りはありますが、
絵はがきをお届けしています。

百獣の王とは、すべての獣の中で最も強いもののたとえでライオンをさします。堂々とした姿、群れを率いるリーダーとしての風格や圧倒的な強さで魅了される勇壮なライオンを今月はお贈りしたいと思います。

ライオンは縁起の良さの象徴として挙げられます。財運や守護神として紋章やエンブレムに使われたり、三越デパートのライオン像は関東大震災にも耐え、太平洋戦争でも戦火から免れてたのでまたがると縁起が良いとか。

職場の熱中症対策！ 全企業で義務化、怠れば罰則も



熱中症の重篤化を防止するため、先月には労働安全衛生法が改正され、職場における熱中症対策が義務化されました。

企業の熱中症対策は労働安全衛生法が省令で定めています。これまでは屋内職場での温度などの調節といった義務はありましたが、6月1日施行の改正省令で強化。一定の気温や湿度を伴う職場での連続1時間以上か1日4時間を超える労働を対象に対策を義務化することになりました。



新たな対策は初期対応に重点を置いています。熱中症にはふらつきに大量の発汗やこむら返りといった兆候があります。改正

省令はこうした症状に自身や同僚が気づいた際に、報告する担当者を事前に決めるよう企業に義務付けています。

症状の悪化を防ぐため、作業からの離脱や身体の冷却、医師の診察といった一連の対応手順を整備することも義務としています。企業はこうした対策の内容を朝礼や休憩室への掲示、メールなどで社内に周知しなければなりません。

対策を怠った場合は、6か月以下の拘禁刑または50万円以下の罰金が課せられるだけでなく、対象が想定される経営者や現場での責任者は、安全配慮義務違反で賠償責任を問われる可能性もあります。



肥後保険登山倶楽部

こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。九州の山で6月と言えばミヤマキリシマという高所の火山地帯にしかならない花が各地で登山者を魅了してくれます。

有名どころではくじゅう連山を筆頭に阿蘇、霧島、雲仙などのありますが今回、私は阿蘇高岳へ登ってきました。仙酔峡から溶岩の固まった岩場をひたすら登り続け、尾根へ出て左側の東峰に目を移すと、山肌一面がピンクに染まっています。その東峰まで行って根子岳を眺め、続けて中岳へ向かうと、中岳側から見る火口は登山しなければ見れない荒涼とした風景で、活火山である阿蘇の息吹を感じることもできる場所でもあります。下山は過去にロープウェイがあったため



登山道から見た中岳火口

舗装路が整備されていますのでこれを使って仙酔峡へ戻ります。さて、この時期は次の山を選定するのが実に悩ましいかぎりです。

ウェルビーイング推進事務局より



生活習慣病やがん予防、睡眠改善、メンタルヘルスなど健康維持に必要な「運動」。健康経営を始めた当初は運動する従業員は0でしたが、今では多くの従業員が週3以上の運動で生き活きと仕事をしています。

しかし、歩くことに無関心の人が多かったので、万歩計アプリでさらに健康管理が進むと確信し、全員で携帯にアプリを入れ、緩やかにウォーキングチャレンジをスタートしました。

現在の目標設定は少し低めの月平均5,000歩。先月はインセンティブ付与を周知した結果、従業員の40%が達成して、スタバ商品券が贈られました。

最近では皆が万歩計をチェックするようになり、今後はペースを見ながら少しずつ目標を引き上げて、歩くことの心地良さや効果を実感していき、心身の健康維持に繋げていければと思います。



スタバ商品券ゲット！

伊藤忠 商人の心得



野武士集団と評される同社の底力が分かる一冊です。

また伊藤忠が最も大事にしている共通言語は経営理念にも掲げている「三方よし」。近江商人だった創業者、伊藤忠兵衛の座右の銘でもあります。

で、削るはコストを減らすことと、そして防ぐは想定外の損を出さないことです。

現会長CEOの岡藤正弘氏が考えた「か・け・ふ」。これは伊藤忠が実行すべき商いの三原則で、稼ぐ・削る・防ぐの頭文字。稼ぐは売上げを伸ばすことで、削るはコストを減らすことと、そして防ぐは想定外の損を出さないことです。

本書では伊藤忠商事の共通言語を、エピソードを交えながら紹介しています。

乱読コーナー

意思疎通ができていない企業

には共通言語があり、それが社内の隅々まで浸透しているように思います。共通言語が浸透していれば、様々な事柄について行動や意思決定のスピード化を図ることができそうです。